



【11月の巻頭文】 旅での…出来事！

『忘れ得ぬ人—人生•etc』

今から何年前になるのだろうか？

昭和 50 年 1975 年位だったのでは無いかと思う。

47 年前位の事です。故郷の鹿児島に 5 歳位だった息子と、帰鹿する事になった。

私には大阪を素通り出来無い従姉がいる。

母の兄の娘なのだが、以前姉妹の様に育った仲なのです。

その姉はご主人に病死されその頃から一人住まいだった。

ずっと1人で暮らしていた姉も 47 年の歳月で この 12 月 初めに 92 歳になります。

90 歳の時 一人住まいが限界になり賄い付きの——老人ホームに移った。

私はいつも思っている。

今まで生きて世間を見渡して、見ているの持論…

だいたい人は 90 歳位迄は何とか一人でも生きられる

それを過ぎると、やっぱり

大なり・小なり人に頼らないとなくなる。

私の母もそうだった。

昔子供の頃、天才と言われ 若い頃 教師をしていた母は 幾つになっても負けん気の強い気性の人だった！！老いては子に従へ何て飛んでも無い…(私もそんなところが似ているのでは無いかと思っています)

母が 85 歳を過ぎた頃、私は母に言った。

『もう無料のバス定期券を貰うのは辞めにしましょう。1人で乗るのは危ないからね!!

それを持っていると、何処にでも行きたくなるでしょう』

暫くして …ある時母が

定期券を持っているのに気が付いた。訊ねる私に母は

真面目な顔をしてこう言った。『役所に行ったら、私の顔を見て黙って定期券をくれた、あの娘は偉い』

私は呆れて返答する事も出来なかった顔に定期券くださいと書いてあったのか？

今こうして母の年に近くなると、あの時母は定期券が無くなるのが淋しかったのだと思える様になった。

そんな母も 90 歳を過ぎた頃から、だんだん老いの道へと進んで行った!!一般的な

人と同じ、寝付いて何も解らなくなり死の恐さも無い死の道へと進み、97 歳で静かに進み切った…

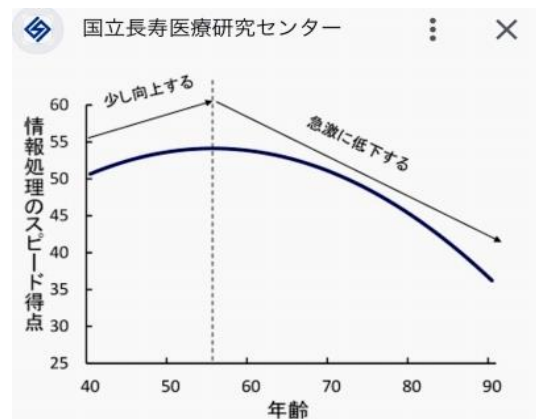
ある時御母堂がご長命の、ある方と話した時の事——

『せめて百歳までは頑張り ましょう』と言われた。

ごめんなさい🙏私には無理だと心で思いながら…




堀田昌子



『そうですね！』と相槌を打っておいた。せめて百歳なのだから、百歳迄は楽々生きて百歳から母上様見たいに一年一年、年を重ねてお元気に長寿の生涯を過ごされるのだろうと思った。中には90歳以上でもお元気な方もいる。それはほんの一握り…何でも出来て歩けるならばご立派です！。

世の中100年時代頑張ってお元気にお暮らしてください。
もうすぐ92歳になる従姉も、あの時は50代にまだ少々ある若さだったのだ！

そんな姉に見送られて、息子と二人大阪を発った。

 新幹線何か無い頃だった



前には乳飲み子をつれた若いお母さんが、出水の実家に帰ると乗っていた。

熊本を過ぎて汽車は何事も無く静かに走っていた。

何処の駅だっただろうか？ □

汽車が動かなくなった。乗客もざわつき始めながら待つしか無かった。

長い時間が過ぎて、やがてアナウンスがあり、列車事故がありこの先には行けない！ 動かない、列車を乗り換えてください、と言った。

さあそれからは戦争見たいになった。直ぐに違う列車に乗り換えたのだから、
のでは無いかと思う。鹿児島方面の人は、肥薩線回りで鹿児島入りになり、出水で降りると
言ったあの若いお母さん、

ミルクを持って無いと言った、どうするの？ □とは思ったが、人の事等考える事も出来ず荷物を持ち息子の手を引いて、人の後に続いた。今の様にキャリア・カート何て物の無い頃、荷物を振り分けにして担いだり、3つの列車の人が同じ列車に乗るのだから、それこそテレビで見る…難民の移動の様な状態だった。

人に押されながら、列車に乗り移り、

2座席中に押されて入った時、座っていた若い青年が立って息子を座らせてくれた。

混んだ列車で私が座り息子を抱いた。

その時のその人の顔を、今でも忘れ無い、この人だと言える気がする。

20代だった青年もあれから45年余少なくとも70代の紳士になっているだろう。

人の急遽を咄嗟に感じ、救う優しい心の持ち主だし、キット素晴らしい人生を、過ごしているだろうと私は信じ、私も折りにふれ幸せで有ってと祈って来た。

あの時の顔を思い続け、今でもその人の顔は忘れない大勢の中から探し出せる。

もう一度『有り難う』とその人に言いたい。

あの時助けてくれたアノ人に…本当に感謝しています。

5歳だった息子も50歳を過ぎ二人の子の親になり、こんな事もあったと伝えておこうと思ったり、あの時の辛い列車事故を思い…

助けてくれたアノ青年を思って、一気に書きました。

それ程、私には強烈な思い出の深い一日でした。

九州方面にゆっくり行けたら、図書館に行ってあの事故が何年だったのか調べて見たいと思っている。

どなたか乗り合わせた方はいらっしゃいませんか？ □あの時、次の日の朝刊に大きく写真が載っていた！

あの日・あの時の事故の事



●『旅での出来事』読みました。ありがとうございます。



巻頭文にふさわしいエッセイで読み人それぞれに胸に感じら何かを残させる一文だと思う。

ぼくは二つのことを考えることでした。

タイトルの「もう一度会えるものなら会いたい人」というキーワードです。

自分も全然別なシチュエーションでそういう人がいます。

もうひとつは人生 90 歳の壁の具体的な例から見た貴女の確信です。それもかなりの確率で。

とても考えさせられる一文です。自分にはそういう事例がなかったような気がしているけどここで一度自分の周りを振り返って見ようと...そんな警告文でもあります。

昨日は八期名簿 2023 年を作ろうかと思い名簿を見ました。

以外に思ったのは感覚に比べて死亡者の確率が低いことです。

当時の全学生数(わからない)に対して物故者の確率はどのくらいなのか？

行方の分からない人が名簿を作成した卒後 30 周年時にどのくらい居たのか？などなど...

ふと思うことでした。LINE やメールで八期の動向を知る忍者👁️会員もそこそこいるでしょうね。

●10月31日 八期オンライン通信第66号(2022・10月号)送付します 大石



絶好の秋日和が続いています。

間もなく京都の紅葉(ライトアップ)も近づいて来ました。

八期旅行で関西を訪れた後、プライベートでひとり、京都の『大河内山荘』を訪ねました。

川崎にお住いの吉村弘子(5組)さんが勧めてくださった嵯峨嵐山の紅葉の名所です。

この紅葉はほんとうに素晴らしかった。

よくコトバでは言い表せないと言いますがまさにその通りでした。

もちろんデジカメで何枚も撮りましたが目でみた紅葉はフィルムに残る紅葉とは違いました。

ところで昨日はソウルでハロウィンナイトの重大事故がありました。今夜が本番とのことです。

渋谷の駅前広場の騒ぎが今夜のニュースで賑やかに流されることでしょう。

僕らにとっては、22年前訪れたサンフランシスコの夜を思い出しますね。 大石
みなさん！！



そろそろ寒さが身に染む季節が到来します。

どうか、縮まないで、胸を張って、お腹いっぱい空気吸って内臓を活性化させましょう。

PDF に昔、永留くんと行った中国長沙市の日本語学校での交流記事を添付しました。

YouTube 動画はグーグル検索で「大石ケイジの中国スケッチ」で観ることが出来ます。



●サンフランシスコの夜じゃなくてロスの夜じゃなかったけ？ 森

●大石くん



いつもありがとうございます。

10月もあつという間でした。


あと2ヶ月したら、また正月ですか。

永留先生との長沙を中心とする旅のこと興味深く読みました。

私の「姫神」の拙文を取り上げてくれてありがとうございます。

「女と刀」も読了しました。そのうち書きます。

西山さん

桜島の「 姫宮神社」の逸話は初めて知りました。

地図で野尻の神社も見つけることができました。

今度、車で通ることがあったら参拝します。



●大石さん

八期会通信 10月号 頂きました。編集 ご苦労様です。

勝 みなみさん 連続 日本女子オープンでの優勝 南日本文化賞 受賞など 市来爺も 喜んでおられることでしょう！

大石ケイジの中国スケッチ 長沙市 日本学校 永留さん 音楽というのは 国境を越えてすぐに楽しむことができるのですね！

鹿児島市と姉妹都市？ いろいろと 企画されて 友好関係にあったように感じております。

習近平主席 第三期就任 これから あと2期 いや 終身も？ 狙っている様子？

これから 対中国関係 どのように なっていくのでしょうか？ 気がかりです。中国 訪問 突然 引っ張られていくようなことにならぬよう注意しなければ・・・と もう 行く気がしませんが たいへんな 状況下となってきました。

●おっしゃるとおり今の政権は恐いより怖い（不気味）です。ぼくのように YouTube に何十回も投稿している上



に中国に友人達がいっぱいいる人はかえってマークされやすいです。日中友好協会なども、隠れ蓑と取られやすいので長沙市政府の招待以外のプライベート旅行はもう無理です。友人達はいいひとばかりですけど...

●ありがとうございます。大石さん ご理解いただき ありがとうございます。私も 1997年より 2年半 江蘇省

南通市に 現地法人に出向しておりましたので 少しは 中国人の気質は 理解しているつもりです。



有難うございました。

●11月2日 本田哲郎

鶴丸高同期生の逝去による「彼を語る会」の開催について。

[中期高齢者である田舎人のタワゴト。\(fc2.com\)](http://fc2.com)



我々の鶴丸高校の同期会は「みみずく会」と称して、卒業以来活動してきました。

この中心人物が今回10月1日に逝去した平山康彦君であります。

彼は、若い時から地元で定住して、仕事の傍ら、この同期会活動にほんとに尽力されてくれました。

彼の足跡は、同期生皆の称賛の的ともなっており、この度の「彼と語ろう会」も期せずして開催の運びとなりました。

昨日、11月1日、城山ホテルでの「集い」を述べながら、我々の同期会の有様を自分のブログに書き込みました。

よかったら、上のURL【中期高齢者である田舎人のタワゴト】をクリックしていただければ、覗くことができます。

よろしく 願います。

●興味があれば行きませんか。

桐野作人、三木靖さんの講演会です。



一人で5人まで申し込めるので、行く人は私の方で申し込みます。

隈元達雄



●ぜひ、よろしくおねがいたします。大石

●11月2日了解です。



折橋旅館はテレビで見っていますが、いいところのようです。楽しんでください。

私たちの「どんぐりの会」は11月19日にいつものグラウンドゴルフを忘年ゴルフ大会(豪華賞品・豪華参加賞?)とし、昼は武岡の「だるま寿司」でランチ会を計画しています。

こういう形でやるのは、3年ぶりですかね。

●下のお知らせのように合格でした。

当日が近づいたら打ち合わせしましょう。

●隈元様 お世話になります。この度は11月30日(水)開催の歴史講演会にご応募いただき、ありがとうございます。応募を2名様で受理いたしました。受付番号は59番です。詳細につきましては、後日ご案内させていただきます。鹿児島県文化振興財団 大山

●お元気そうで何よりです。堀田さんからの写真見ました。



大石さん 昨年のメール読み返していたら、副島律子さんとのトーク交換が多いとのこと。田舎から名山小に転校した際、偶然同クラスだったように思う。話したこともなかったけど懐かしい名前です。できたら一度電話してみたいので電話番号を教えてくださいませんか。覚えているかどうか分からないけど。

佐倉市 フルイチ

●古市庄八郎くん

体調が回復傾向で嬉しいです。貴重な友人ですから。中学以来といえば、今LINEでは副島律子さんとのトーク交換



が多いです。(音楽の話、詩歌の話いろいろです。)彼女のご主人に先立たれ一人で柏市に住んでいます。高校仲間もいいですが15歳の少年少女だった中学時代の方がクラスの風景や学友の顔がリアルに思い出します。

2021/11/27

大石けいじ

●大石さん 早速電話番号ありがとうございました。近々連絡してみます。小生、名山小のときしか記憶(うろ覚え)にないけど、長田中3年2組でも同じクラスだったのですかね。話が通じるとめたものですが。



お二人他界されたとのこと、年齢的にだんだんそんな時期に近づいていくのですね。体調管理に気をつけねばと強く思います。

コロナ禍の関係でもう丸4年帰鹿できていません。墓参もあり来春頃までには是非にと思っていますが。八期の皆さん方ともお会いしたいですし。

今日はやっと入手できた「安倍元総理の写真集」を眺めていました。本当に日本にとって、また世界にとっても、かけがえのない人を失ったものだと、つくづく悔やまれてなりません。

まずは御礼まで。

佐倉市 フルイチ

公益財団法人鹿児島県文化振興財団 主催
歴史講演会
令和4年11月30日(水)13:30~16:10
開場 13:00 開会 13:30

歴史作家 **桐野作人講演会**
SAKUJIN KIRINO
小松薫子
演題 基本風摩藩の若き名宰相

三木 靖 講演会
YASUSHI MIKI
演題 復元された鹿児島城御楼門
~知られざる歴史を辿る~

会場 鹿児島県歴史・美術センター黎明館2階講堂
鹿児島市城山町7番2号

定員 245名(予定)
新型コロナウイルス感染症の拡大状況により定員数を変更する場合があります。

応募締切 11月29日(水・祝)必着
定員に達し次第締切

入場料 無料

申込方法 ①メール(oubo@houzanhall.com)での申込
②往復はがきでの申込
【お伝えいただく内容】①お名前、②電話番号、③住所
※郵便物でなくても申込可能。複数でお申し込みの場合は、代表者と参加人数

新型コロナウイルス感染症予防策にご協力ください。
① 会場内ではマスクを着用してください。
② 入場時の手洗消毒、マスク着用をお願いいたします。
③ 会場内では各自の感染予防を徹底し、感染防止にご協力をお願いします。
④ 講師へのアプゼントや言葉は控えてくださるようお願いいたします。



●是非電話で懐かしかった3年2組を語り合ってください。

佐々木範子さん、のらの岩田さん、相次いで他界しました。

● 11月7日



大石さん 悪戦苦闘しながら どうにかこのメールを送れるようにはなりましたが
以前のような使い勝手の良いものは、まだありません。
一時は ダメかとも思いましたが 使えるようになっただけでもよかったです。
世の中にパソコンダウンくらいの怖いものはありません。

●大石です。こんにちは！



まずはご苦労様でした。ウイルスでなくてよかったです。

ぼくもハードディスクのCドライブの容量が少なくなって別付けのディスクに画像移動していますが立ち上
がりが遅くなって来ました。多分内部(メモリー)が詰まってきたのでしょう。



メモリーを増設可能なら解決すると思います
ご存じだと思いますが、気持ちがいいくらい速くなります。 西山

世界史の中の鹿児島 松尾千歳 ●作者本人が Facebook に投稿しました。

3日 木曜日 京 日 本 新 聞 鹿 児 島 第3種郵便物認可



かつて海外貿易の拠点として栄えた内之浦の港 肝付町

世界史の中の鹿児島
尚古集成館長 松尾千歳

大隅半島の内之浦(肝付町)は、文禄5(1596)年に京都の学僧・藤原惺窩が訪れた時、今とは全く様子が異なっていた。当時は海外交易の拠点で、中国船が浮かび、町中で外国人が歩き回っていた。その様子は、惺窩が記した「南航日記残簡」からうかがい知ることが出来る。この日記によれば、中国への渡海を目指し、6月28日に京都を出発した惺窩は、瀬戸内海を抜け、7月13日早朝に内之浦に着いた。宿舎でくつろいでいる、宿の者が「勝酒(焼酎)」「異域珍肴」を携え訪ねてきて、一緒に酒を酌み交わすことになった。彼は前年にルソン(フィリピン)に行っていた。惺窩は異国の話に耳を傾け、世界が広く、日本がいかに狭いかを痛感したという。この時に使った盃は「ルソン瑠璃盃(ガラスの盃)」だった。夕方になると、港の役人、竹下宗意が「菓子、マクワ、葡萄勝酒」を手土産に來訪した。葡萄勝酒は、おそ

■ 藤原惺窩が見た内之浦

ワインに地図 交易の港

らくワインだろう。彼も琉球やルソンへ頻りに行き来しており、「蛮人ヨーロッパ人」が描いたと思われる世界地図を持っていた。16日には内之浦にいた中国人と話し、17日は鐘鼓、鉄砲を打ち鳴らして入港する中国船を目的に当たりにした。翌日には内之浦から北にある波見(肝付町)に行ったが、ここも中国船が停泊中だった。波見からルソンに向かう泉州(中国・福建)の酒船で、惺窩は船主と「蜜酒の天門冬・梨実・冬瓜等の珍肴」をつまみに壺酒を飲んだ。ちなみに当時は文禄・慶長の役の真っ最中。日本と中国は交戦中だった。薩摩(島津氏領国は大隅国・日向国にもまたがるが、当時の通称「薩摩」とする)からも島津義弘が朝鮮に出陣していた。ただ、戦をしているのは同士で、自分たちには関係ないとはかり、人や船が往来し、公然と交易活動が続いていた。

惺窩はその後、高須(鹿屋市)、山川、鹿児島、浜之市(霧島市)、庄内(都城)などを回ったが、日記は8月7日で途切れる。8月中旬頃は中国へ出航しようだが、船が嵐に遭い鹿児島(三島村)硫黄島に漂着、その後は中国渡海を断念し京都に戻った。

帰京後、朝鮮人被虜の儒学者、姜沆と知り合い、彼の助けで朱子学の奥義を究め、京学派を興した。そして、徳川家康に仕えた林羅山ら大勢の人材を育成する。

惺窩は京都の一流の文化人で、中国文化に強い愛がこれに現れていた。海外の情勢や文化に關して、一般的な日本人よりはるかに豊富な知識を身に付けていただろう。それでも、彼の想像をはるかに超える驚きの光景が薩摩の地では広がっていた。

現在でも、歴史、文化は東京や京都の目線から語られることが多いが、そのままで誤解されてしまっ、鹿児島目線での調査研究、そして情報発信が必要だと感じ

●原原則1、3木曜日掲載

.....南日本新聞の連載「cangoxina 世界史の中の鹿児島」第2回目が掲載されました。朝鮮出兵の最中、内之浦を訪れた学僧藤原惺窩が、湊に浮かぶ中国船、湊にいる中国人を見、地元の人から「葡萄勝酒(ワインか?)」などを振るまわれ、ルソンや琉球に行った時の話を聞かせてもらい、世界がいかに広大で、日本がいかに狭く小さいか思い知らされたと書き残していることを紹介しました。

そして京都では想像もできないような歴史、文化が薩摩の地で育まれていること。

今も、東京、京都目線で薩摩の歴史、文化が語られることが多く、それでは誤解され、薩摩の本当の歴史、文化は理解されない。

鹿児島から調査、研究を進め、それを情報発信していくことが大切だという思いを記しました。その思いが読者の方々に伝わることを願っています。

また、今度、鹿児島大学法文学部に接された「『鹿児島の中の近現代』教育研究センター」にも期待しています。原口泉先生を中心に学外専門委員として、鹿児島大学の動きを支援させていただきたいとも思っています。

●11月3日 11時半



大石さん

世界史の中の鹿児島 1600年前後 大隅半島 内之港は栄えていたのですね。京都の学僧 藤原惺窩が 当時の中国、朝鮮 広く 鹿児島との間を 取り持ち 世界の情報収集 発信に活躍されておられたことが わかります。すごいですね！
確かに 言われる通りと思いますが 私 関西におりますと あまり 郷里 鹿児島 に関すること 薩摩の歴史・文化についての情報記事に接する事少ないので この件 鹿児島に在住している人が 感じられること多いかと思えます。
私は これ以上 この件について 意見持ち合わせておりません。よろしく 木場 祥雄

●ほんとうにいつも返信(意見)をいただきありがとうございます。

今日は久しぶりに邪馬台国は何処にあったか？



講師の方は八女市説でしたが、この手の講師は自説パッションが強く聴いてて引き込まれてしまいます。
神武天皇の東征説まで古事記を紐解きながら 2 時間の勉強会(講演)でしたが 500 円のレジメ代で帰ってから本棚にある数冊の邪馬台国関連本を眺めることでした。

この講師の書いた本もありますがまだ読んでいません。多分、買わないと思います。(添付)

●大石さん

邪馬台国についてのお話し聞かれたようで、私 昨年末より 東北大学名誉教授 田中 英道先生の 言われる



ことを 信じており、

邪馬台国は 日本に存在しなかったという説に 基づき 日本の古代史を 勉強しております。

この先生のお母さんが 鹿児島の出 だそうです。邪馬台国は 魏志倭人伝に基づいて いろいろと 多くの高名な先生方が 九州説、大和説など

唱えられていますが 物的証拠 遺跡などが ほとんど見つかっておらないというのが 田中先生の持論です。

魏志倭人伝を書かれた人は 日本に來られたこともない著者は西晋の陳寿という人で、280 年～297年(陳寿の没年)に書かれているが、この方は

日本に來られてこともなかった、伝聞で書かれたものらしい。銅鏡も与えられたとあるらしいが これは 日本で作られたもの？とか・・・いろいろ

と確証が出来ないことが多いという説である。

記紀のも 邪馬台国、卑弥呼の話は 記載ない？など 推定の類を出ない。

ということが 私が 信じている説です。 以上 よろしく 木場 祥雄

●こういう初めてのことを知ると、今は寂しくなったような場所が、その昔は外国との交流の拠点でどこよりも早く珍



しいものが入ってきたり、外国人が闊歩していたりしていたことがわかります。

やはり、一次史料を読み解く力がないと、こういうことを知ることはできません。にわか勉強ではどうにもならないことを思い知らされます。

●2022 年 11 月 3 日(木) 17:34 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

南日本新聞の連載「cangoxina 世界史の中の鹿児島」第 2 回目が掲載されました。朝鮮出兵の最中、内之浦を訪れた学僧藤原惺窩が、湊に浮かぶ中国船、湊にいる中国人を見、地元の人から「葡萄勝酒(ワインか?)」などを振るまわれ、ルソンや琉球に行った時の話を聞かせてもらい、世界がいかに広大で、日本がいかに狭く小さいか思い知らされたと書き残していることを紹介しました。

● 11月8日 pm3:00 西山発

大石さん



手間のかかるお願いがあります

バックアップファイルから「西山レポート」の下記のものが欠如していました

大変お手数をおかけしますが

容量の関係上、1メールに1ファイルずつ添付して

下記の月の物をお送りくださるようお願いいたします。

4月、5月、6月、7月、8月、9月

1月もありましたらお願いします。

以上、何卒よろしくお願い致します。

●了解致しました。しばらくお待ちください。大石

●11月10日

チョッと気になる切り抜きがあります。

『専守防衛』です。大石

●西山コメント



専守防衛と言う考え方はそろそろ変えた方が良くと思います。

専守防衛とは作文では可能でも実際は不可能です。

ミサイルが壱発 828 ならいいですけども 10 発 50 発 100 発飛んできたら防ぎようがありません。専守防衛はミサイルがなかった時代の考えです。

裏返して言うと抑止力の強化にはミサイルの配備が必要だと言うことです。

国力に見合った防衛力ではなく防衛力なくして国家の存在はないと言うことを覚悟すべきでしょう。

それと台湾有事と言う表現は本当ではありません。

中国をいたずらに刺激するだけです。

日露戦争から日中戦争または太平洋戦争までの間は 30 周年 40 年近く間がありました。

つまり日本の陸軍海軍には実戦経験者がいなかったと言うことです。

学業成績が優秀な人が上に立っていました。

現在も元自衛隊の最高の首都参謀長クラスが出てペラペラ喋っています。

新 聞 日 本 南

安保考 ②

日米一体化

専守防衛の理念危うく

政府は、相手領域内でミサイル発射を阻止する敵基地攻撃能力（反撃能力）保有に前向きだ。新造する「イリス・システム搭載艦」にも長射程ミサイルを搭載して転用する方向。緊迫する台湾情勢をにらみ、攻撃の一翼を担う姿勢を示すことで、中国と対峙する米國と一体化し、抑止力強化を試みる日本の姿が浮かぶ。自衛隊が「盾」の役割だけでなく「矛」獲得へ踏み切る防衛政策の転換を前に、憲法に基づく専守防衛が揺れている。

「国家安全保障戦略などの改定で、日本が特に念頭に置くべきは中国である。短期的に見ても、台湾有事の発生可能性が高まっている」と対処できると答えた。

「反撃能力を整備した場合は中国に対応しきれないとの危機感の表れとも言える。」

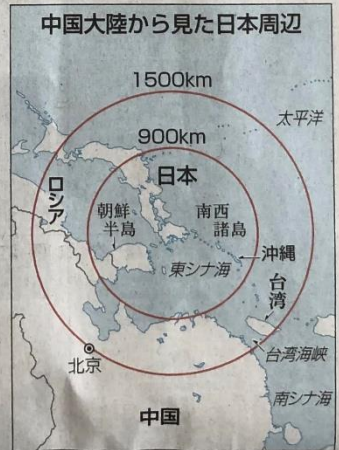
敵基地攻撃能力は、米國製巡航ミサイル「トマホーク」など長射程ミサイル保有が念頭に置かれている。日本領空から900km圏内には朝鮮半島はほぼ全域と中国沿岸部が収まり、1500km程度の射程なら九州から北京や台湾海峡に届く。米國にとって、中国大陸を囲むように位置する日本列島や南西諸島の地政学的な役割は極めて重要だ。

9月14日（現地時間）、ワシントン近郊の米国防総省。浜田靖一防衛相が敵基地攻撃能力の検討方針を伝えると、オースティン米国防長官は頷き歓迎の意を示した。1時間半に及ぶ会談では途中で昼食を交え、米軍のバンドが日本の童謡を演奏して盛り上げる演出もあった。席を共にした防衛省幹部は「対中抑止の一端を日本に担ってほしいとの切実な思いを感じた」と打ち明ける。

ただ、敵基地攻撃能力を持てば「防衛力を自衛のみに限る必要最小限のものに限る」として、長年守ってきた専守防衛の理念がなし崩しになるリスクを抱えることになる。「日本の防衛政策は、対中抑止の時代も、米國に頼る時代も、努力し、見放されたいよう『努力する手袋だ』。元政府高官の一人は自嘲気味に説いた。

透けるのは西太平洋で米軍の抑止力低下を避けたいとの米側の思惑だ。米ハイデン政権が10月公表した戦略文書では、日本など同盟・友好国と連携する「統合抑止」の概念を掲げた。2025年には、西太平洋の米中の戦力バランスが中国側に優位に傾く予測されており、米単独で

地攻撃能力の検討方針を伝えると、オースティン米国防長官は頷き歓迎の意を示した。1時間半に及ぶ会談では途中で昼食を交え、米軍のバンドが日本の童謡を演奏して盛り上げる演出もあった。席を共にした防衛省幹部は「対中抑止の一端を日本に担ってほしいとの切実な思いを感じた」と打ち明ける。



て施 3 べ 出 早 しの であ 本 た 基 軍 う 計 に

とても元軍中には見えません。戦うことよりもおしゃべりが得意な人たちです。

マスコミに出たいと言う程度の人たちが自衛隊のトップにいます。そうでない人もいるでしょうけど...

先の戦争でも満州や硫黄島からは偉い人から順に逃げ出しました。

言いたい事はいろいろありますけれども専守防衛で役に立たないお金は使うべきではありません。

ジェーアラートで1番読んでるのは北朝鮮の將軍様でしょう

●南郷コメント



先日も北朝鮮のミサイルが日本の上空を飛び越えて太平洋に落ちたかもしれないので注意して下さいとジェーアラートがテレビで流されていたけど何の為にイジスカンを日本海に浮かべて見張っているのかわからない。

しっかりした情報すら取れない日本の防衛システム一度に大量のミサイルかが飛んで来たら今のままでは防ぎようがないと思う、それよりシェルターを作るのが先のような気がする

昔中曽根総理が日本列島を不沈空母と言ったけどまさしく中国や朝鮮側からみたら日本列島は沈まない空母に見えると思うので北の北海道から南の沖縄迄ミサイルを並べ中国と朝鮮に向けとけばそれだけでもある程度抑止力になると思う。

実戦経験のない自衛隊をいかに有効につかうか昔の戦争と違いウクライナを見てわかるようにミサイル同士戦いに見えるので日本も自前のミサイルを開発してアメリカの武器ばかりに頼らず技術力のある日本の武器を開発する事が大事だと思う。

日本はいかにしたら中国と戦争しないようにする事が出来るか真剣に考える時期に来ている。

●本田コメント

改めて自分ま、再度、この記事を見直しました。



お二人の持論、相手がミサイル打ち込んでくるから、防衛のため、こちらも、それに対抗できるだけ装備を持つべきであるという、日米軍事関係者の意向にそつた思考状況は、従来からの憲法や国是(核三原則)から、逸脱する事に、なります。

現実には、中国も北朝鮮も、ミサイル

も核も保持しています。ミサイルも自衛隊は、高度化し、さらに、相手に合わずとなると、核も保持する事になります。今のウクライナの惨状を見ていると、たしかに、専守防衛だけでは、国が守れないでしょう？！

しかし、日本は、戦後、ひたすら、世界に冠たる科学、技術力を、持っています。

たとえば、台湾と日本でくんで、半導体を、中国や北朝鮮などに、輸出しなければ、彼らの開発力も発揮できないでしょう？！

結論は、日本は・・・平和外交に徹して、他の国けら、先駆的な工業、技術力を持って、相手から攻められない国になるべきです。

それでは、自分の持論ですが、日米安保などに、拘泥しているのではなく、世界のどの国とも、友好関係を模索すべきと考えます。

●あたらしい「チーム松富」誕生です



線維筋痛症は残酷な病気です。

ほとんど毎日が痛みとの戦い。ひどいときにはお箸ももてない。

痛み止めは効かないから、一度リミットを超えて右半身が痛み始めると、ベッドに横になって、ただ、ただ、耐えるしかない。

1日痛みを堪えて過ごす、心も体も芯から疲弊する。

少し調子の良い時には、主人に車椅子を押してもらって、近くのお店にスパゲッティを食べに行く。

テレビドラマも、調子の良い時には見ることができる。1週間に2回くらいかな？

でも、せいぜい1時間。ときにはしっかり作った映画やドキュメンタリーも見たくてトライする。

でも、体が受け止められるリミットを超えると、テレビのチカチカした光が、体を刺すような痛みが変わる。出演者の会話や音が体を攻撃してきて、その圧力から逃れるために、電気を消して真っ暗にした寝室に飛び込んで、体を丸めて、嵐のようなパニックがさるのを待つしかない。

体力と共に、気力も萎える。

1日に40錠以上飲むお薬には、体をふらつかせるものがたくさん入っているから、しょっちゅう家の中でも転んでしまう。衣替えは危険な作業で、椅子や、踏み台に乗ってクローゼットの上の方の服を入れ替えようとして、体のバランスを失って落ちてしまって、もう肋骨を2回も折ってしまった。

指先に力が入らないから、割ってしまったお皿やカップは数知れない。(すごい断捨離！)

そんな中ですっかり、家に閉じこもることに慣れて、簡単な本を読むことに慣れて。。。

笑ってしまうのは、大好きな本を読もうとすると腕が痛む、目が痛む。

主人が本を支える書見台を買ってくれて楽になったと思えば、今度はページをめくる指が痛み始める。全く、私の体は、私の弱みをよく知っている。😄

私の体は、以前、頑張らせすぎた私に復讐するかのように、私が何かしようとする、「痛み」を起こして止めようとする。FBの記事を書くのも、大変な負担になって、書きたいことがあっても諦めざるを得ないが増えてしまった。

友人とも、もう3年会っていない。なんだか自分が役に立たないポンコツになってしまったような気分になる。



でも、そんな中で、どうしても今書かなくては、という思いが募ってくる。

今、伝えなければ。そんな思いで書き始めた本。

ゆっくりで良いから、良いものを。

そうして書き始めた本は、ウクライナの情勢から、どんどん、離れていった。

今、日本が最も警戒しなければならないことへと。

国際情勢は日々、動き、私たちへの「脅威」の強さも大きさも変わってくる。

一人で書くことは出来ても、一人で本にすることはできない。

古くからの友人が、本当に、本当に、骨を折って、私が支払える額で協力してくれる人たちを探してくれた。

プロの編集者、プロのデザイナー、彼女たちが私の文章に手を入れ、どうしたらより読みやすくなるか、分かりやすくなるか、考えてくれる。

地図や写真、字数や改行、文字の大きさ----全てが読む人の読みやすさにつながっていく。

今日はデザイナーの方も含めて初めて全員顔を合わせた打ち合わせとなった。

どんな表紙にしたいか、中身の濃さに重点をおくのか、字を大きくし、読みやすさに重点を置くのか。

紙の質だって、落としたりたくない。読みにくくなるから。

写真を入れればイメージは湧きやすくなるが、一枚一枚に使用料がかかり、コストを押し上げてしまう。

安くして、みんなが買いやすい本にしたいけれど、ページ数を減らし、内容を削るのは辛い。

そもそも、大赤字覚悟ではあるのだけれど、病気で仕事をやめて収入のない今、限界がある。

決めなければならないこと、選ばなければならないことは、山のようにある。

諦めなければならないことも。体がつらくて思うように先に進めなくて焦ることもある。

けれど、きっと、この素敵な仲間たちが一緒に伴走してくれるのなら、大丈夫！

これから、本当に良い本を。読みやすく、心から読んで良かったと思ってもらえる本を。

今、日本人が読まなくては間に合わなくなるかもしれない、そんな危機感を共有しながら作っていきます。

●お知らせ致したい事がございます。



11月6日 安倍 洋子さんのご主人安倍樹氏が亡くなりました。

思えば脳溢血で倒られ後一カ月で三年になる、長い闘病生活でした。

コロナの世の中見舞いにも行けず心残りもありますが・・・19年の

関東同期会にも参加され、秋の四国旅行でもお会いになった方もいらっしゃいました。

苦しみも無く旅立たれ、自宅にも帰られ3晩休まれたそうで、心残りは無い、苦しみから解放してあげたいと今は洋子さんも気丈にしておられる様です。

11日 12日がお別れになりますが

お会いになった方やら、どうぞ御冥福をお祈りくださいませ・・・

謹んでお知らせ申し上げます。

頼まれ 代理人 11月10日堀田昌子

●



淡路島？でお会いした時のお元気で優しそうなお顔が浮かんできます。

御冥福をお祈りします。

大龍小学校で同じクラスだった里智恵子さんのご主人からも「妻8月逝去のため年賀辞退」の知らせが届きました。

●毎年年賀状のやりとりをしていました。素晴らしい筆文字が目には浮かびます。

ひとりそして又ひとり...ですね。

● 大石ケイジ安倍さんのご主人様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。長い間の介護生活本当にご苦労様でした。これからはご自分の健康に呉々も気を付けられて心安らかにお過ごしくださるようお願いいたします。

森君と全く同じ気持です。ご主人と仲よし人生だったんですね。羨ましい限りです。安倍は果報者！

●安倍さん



ご主人様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。ハ期ラインで親しくなり、色々な情報の交換しましたね。

このたびはご主人様がお亡くなりになられた事残念ですが。洋子さんの事、充分介護されていたらいいました。ご苦労様でした。

私もはやかったがみおくりました。充分尽くされた事、悔いわありませんよ。

今からはご自分の体を労わりましょう。ご苦労様でし。

永野和枝

●安倍さんご主人のご冥福心よりお祈り申し上げます。ご主人の病気の事はかねてより聞いておりましたが僕の



家内も同じ病気で介護してるので大変ご苦労された事でしょうね、

これからは自分の残された人生をしっかり楽しく元気で頑張ってください😊😊😊

●安倍さん、ご主人さまご愁傷さまでございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ご主人さま長い闘病生活と伺ってましたが、さらにコロナ禍とあって、面会もままならなかつたことと存じます。

これからは、ご自分の生活を第一に、お体を大切にお過ごしください。

●安倍さん、ご主人様ご永眠されたの由、謹んで哀悼の意を表します。



心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2019年高松でお会いしました事がつい最近のように思われます。 柴田

●安倍さん、ご主人様のご冥福を心よりお祈りいたします



クマモトタツオ

●皆様今晚は。安倍洋子です。



バタバタしていましたので、掘田さんに、お知らせをお願いしました。
暖かいお悔やみの、お言葉をいただき、ありがとうございました。
人の世話が、大好きな、心優しい主人でした。
60年という、長い間、お互い、空気のように、暮らしていました。
どなたにも来る、別れですので、乗り越えなければ、なりませんね。

●隆アンサー



安倍洋子さん、心よりお悔やみ申し上げます。最愛のご主人とのお別れ身につまされます。貴女とお二人で築かれた今日、最高のチームワークでしたね。ご主人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。洋子さん心身共に疲れのことでしょう。どうぞお身体お大事にお過ごし下さい。

●西山アンサー



安倍さん、働き者よとおっしゃっていたご主人に先立たれてさぞかし気落ちのことと思います。さぞかし寂寞としてずいぶんと寂しいことだと思います。しかしこれからもあなたは生きていかなければなりません。気をしっかり持って頑張ってください。そうすることがご主人の供養にもなると思います。頑張ってくださいね！

●前回の新聞切抜き『専守防衛』について一言

本田哲郎曰く-

改めて自分ま、再度、この記事を見直しました。



お二人の持論、相手がミサイル打ち込んでくるから、防衛のため、こちらも、それに対抗できるだけ装備を、持つべきであるという、日米軍事関係者の意向にそつた思考状況は、従来からの憲法や国是(核三原則)から、逸脱する事に、なります。 現実には、中国も北朝鮮も、ミサイル

も核も保持しています。ミサイルも自衛隊は、高度化し、さらに、、相手に合わずとなると、核も保持する事になります。

今のウクライナの惨状を見ていると、たしかに、専守防衛だけでは、国が守れないでしょう？！

しかし、日本は、戦後、ひたすら、世界に冠たる科学、技術力を、持っています。

たとえば、台湾と日本でくんで、半導体を、中国や北朝鮮などに、輸出しなけりば、彼らの開発力も発揮できないでしょう？！ 結論は、日本は

平和外交に徹して、他の国けら、先駆的な工業、技術力を持って、相手から攻められない国になるべきです。

それでは、自分の持論ですが、日米安保などに、拘泥しているのではなく、世界のどの国とも、友好関係を模索すべきと考えます。

●11月10日南郷論

先日北朝鮮のミサイルが日本の上空



を飛び越えて太平洋に落ちたかもしれないので注意して下さいとジエイアラートがテレビで流されていたけど何の為イジスカンを日本海に浮かべて見張っているのか良くわからない。しっかりした情報すら取れない日本の防衛システム一度に大量のミサイルかが飛んで来たら今のままでは防ぎようがないと思う、それよりシェルターを作るのが先のような気がする。

昔中曽根総理が日本列島を不沈空母と言ったけどまさしく中国や朝鮮側からみたら日本列島は沈まない空母に見えると思うので北の北海道から南の沖縄迄ミサイルを並べ中国と朝鮮に向けとけばそれだけでもある程度抑止力になると思う。

実戦経験のない自衛隊をいかに有効につかうか昔の戦争と違いウクライナを見てわかるようにミサイル同士戦いに見えるので日本も自前のミサイルを開発してアメリカの武器ばかりに頼らず技術力のある日本の武器を開発する事が大事だと思う。日本はいかにしたら中国と戦争しないようにする事が出来るか真剣に考える時期に来ている。

●『中国スケッチ 28』pdf 添付します

●-- youtube で見ました。文章も読みました。

「内モンゴル」のモンゴルは、顔が日本人にそっくりだとか、モンゴル人の日本の大相撲進出が凄く、また強いという



ことでの認識があります。

特に大相撲では、高校から日本に来て、部屋に入門する力士が多く、まさに「庇を貸して母屋を取られる」感じになっているので少し悔しい思いもしています。

いきなり本題から外れてしまいました。大石くんのモンゴル防寒スタイルでの乗馬にはびっくりです。

あれで走ったのです。私は、その昔、阿蘇の草千里でおとなしい馬に乗ったことがあります。あの高さだけでも怖かったのを覚えています。

モンゴルの馬上の闘いは勇壮ですね。

大石くんがご馳走になった料理も珍しいですね。中国人の接待が至れり尽くせりということも初めて知りました。

「王昭君物語」については家内が詳しく熊本城の本丸御殿の「照君君の間」障壁画も見たことがあるようです。

私は、この youtube であらずしも初めて知りました。

●ありがとうございます。ただの回想記ではなく、あまり大陸を知らない人達に「へえ、知らなかった」



そんなのを一つでも入れてみようと思って作っています。

旅はただ観て回るだけではテレビ番組を観ているのと変わりません。

足跡👣を振り返って頭で整理してそれを記録(しないと忘れてしまうので)して初めて「行った」ことになるのでは？

そう思います。人生は予習・復習の繰り返しですかね。

●11月16日 昨夜、北九州から帰って来ました。クマモト

LINE では旅の途中経過の説明もせず失礼しました。



95歳の叔父の顔を見てきました。

ひげ茫々でしたが、まあまあ元気そうで一安心でした。

行ってすぐに小倉の街をぶらついて「小倉城」や「松本清張記念館」などを見学しました。

その日はモノレールで妻の妹宅に行って泊まりました。

翌日は昼ごろから義弟の運転する車で南下し「宮地嶽神社」に行き、その夜はロイヤルホテル宗像に宿泊しました。

明けて「宗像大社」に行って、幸運にも珍しい祭祀に行き合わせて見ることができました。

福津駅まで送ってもらい、博多に出て博多祇園で有名な「櫛田神社」を見学し、その他の寺社巡りなど、目一杯見学しました。

今朝は疲れもとれていたもので、定例のグラウンドゴルフにも行きましたが、さすがに午後からは上下の臉が仲良くなって居眠りをしていました。旅のことは少しずつブログに書く予定です。

写真は左から「小倉城」「宮地嶽神社」「宮地嶽神社」「宗像大社」です。

隈元達雄



● 11月17日

隈元 達雄 様、ほかの皆様へ



隈元様の北九州行の旅行記、拝見しました。 過って、仕事の現場であり、お住まいになっていた小倉ですから、懐かしく、自由に回られたことと、存じます。 実は、小倉には、年少の頃、小倉城址での「淡い思い出」があります。

これについては、今日は書きません。 実は、貴兄と同じころ、この12日から、大分市での「第18回大野川合戦まつり」が行われ、それに、今回若手の永吉南郷会副会長となっている後輩を、あちらの友好都市盟約を結んでいる関係者の方々に、紹介と顔つなぎの目的で、我々夫婦に同道してもらい、車利用で、大分まで行ってきました。

この「大野川(昔は「戸次川、へつぎと読みます)合戦まつり」は、今を遡る430年ほど前の1586年、島津家が九州制覇の一環として、大分は大友宗麟一族が統治していた所を島津家久(島津4兄弟の末っ子で、わが永吉島津家の初代領主、生前は佐土原城主)の一軍で、大友宗麟が豊臣に依頼して加勢に来た四国援軍(長曾我部、仙石、十河一族など)得意の「釣り野伏せ戦法」などを駆使して、島津家久一軍で、勝利した史実があります。



15年前ですが、小生が永吉南郷会会長時代に、会員の研修旅行に初めて彼の大分の古戦場跡を訪門して、彼の地の皆様との親しい交流が開始され、その後、大分市長の提案で、大分市、日置市、四国からの援軍の高知市、高松市、南国市の5市での「友好都市盟約」を締結しているほどであります。

彼の地の方々は、2日間も毎年、「まつり」を広い河川敷に舞台を作り、小中学生などの集団甲冑部隊、成年男女の武相集団、さらには、実際の「馬」に武装具を着せた騎手と共に、騎馬戦をやらせるなど、観客数もいつも2日間で5万人を超える、壮大な「お祭り」です。

お互いの「お祭り」には、お互いに「招待」しながら、親しい交流を続けています。

そのようなことで、自分の立場は、老生でもあり、今回は、新しい役員の顔つなぎが主目的でした。

なかなか、歩行が困難であり、車は何とか運転できますので、現地での移動もあり、往復、車利用でした。



● ブログ楽しみにしています。



本田さんも不死鳥の如く跳び回ってますね。

羨ましい。検査で鹿児島に来る時『森会食会』しませんか？

● 本田 哲朗様

大石くんも書いているように本田さんの相変わらずのご活躍には驚くばかりです。



その前にも遠来のご友人を霧島などへ案内接待されたことも見聞きしていましたが、その後、体調を崩されたとのことで心配していました。

そういう事もあって、暫らくは静養されているのかなと思っていました。

ところがこの度、大分市の「第18回大野川合戦まつり」に副会長さんの顔つなぎのために同道されたとのことで更に驚きました。

どうか体調と相談しながらお過ごしください。

私ごとで小倉に行って、ついでに懐かしい小倉城や、訪ねたかった松本清張記念館など訪ねる事ができて満足の旅でした。この機会を外すとコロナの第8波が来そうなので結果的にもいいタイミングだったと思っています。



●みなさま お元気に活動のご様子喜ばしいことです。

●副島律子さんから LINE 来ました 大石

●副島律子さんから LINE 来ました

先日古市さんよりお電話頂きました。突然なことでびっくりしましたが嬉しいことでした。

お互いに顔は定かでないけど名前だけは覚えていると。同期生とは有難いことで上村先生のクラスで一緒に学んだというだけで懐かしくお話をしました😊 これも大石君繋がりですねと話したことでした。とりあえずご報告まで

●大石さん こんにちは 朝夕大分冷え込んできました。鹿児島はいかがですか。副島さんの短歌集をせっせと読んでいます。分かるのもあるけど、全体的に難解ですね。でもそれぞれに味わいがあります。皆さんの集まりの写真は森さん宅でしょうか。皆元気そうで何よりです。来年帰った際、集まりがあったら参加したいものです。



コロナの第8波入りが種々叫ばれていますが、持ち時間も残り少なくなってきたので、外歩きにチャレンジしたいと考えています。ただ、狭窄症の後遺症の影響で歩行が並人のようにいかないのが歯がゆいところです。安倍さんは娘さんと遺品の整理中とのことで比較的元気な声でした。コロナで面会もかなわないまま時間が過ぎたので、ホツとした面もあったことでしょう。

佐倉市 フルイチ

●今夜は森繁くんお母様お通夜に行って来ました。106 歳



つい先日まで健康体でのお別れでした。2 日前は安倍洋子さんのご主人の逝去で四国旅行でお会いした仲間からの LINE トークがいっぱいでした。寂しくなります。写真はお通夜での八期生と故森夏子さまの在りし日。



副島律子さんの詩集まだまだ読み終えません。文字数は少ないのに…なぜ？

●大石さん メールありがとう。森さんのお母様、106 歳でお元気な様子、いいなあと内心喜んでいたのですが、亡くなるられましたか。お悔み申し上げます。安倍洋子さんのご主人も逝かれたのですね。倒れてから長い入院生活でしたが、コロナの関係で見舞いもままならないと言っていました…。さぞ心残りだったことでしょう。また電話してみます。関東八期会の席でお会いして飲んだことがありました。いい方でした。長い闘病生活ご苦労様でした。お互い健康に留意してすごしましょう。私の叔母も 92 歳で 1 昨日召されました。



● 11月19日



連絡ありがとう。

了解しました。ほぼ出席する予定で進めておりますが。ただ、日帰りか宿泊するか調査中です。
鹿児島県の自治会館はすでに満室のようで、空き室ゼロでした。

今、ホテルを検討中です。

最終の出欠は、もうしばらく、お待ちください。

木佐貫晃嗣

● 11月21日 LINE トークより。



大石発信の『高岡筋 寒天』問答：西山さんが LINE トークに参加しました。

今日月曜日の LINE (寒天)

薩摩藩は徳川時代になる以前は琉球などを通して盛んに海外貿易をやっていた。鎖国政策では密貿易になっただけでも幕末には幕府の力が衰えたので海外貿易を進めたと思われる。それで得た富が奄美大島の黒砂糖とともに幕末の活動資金と軍備増強に寄与したと思う。記事にあるようにいろいろなものを輸出した輸入もしたことでしょう。



台湾問題は台湾の国内自体に複雑な問題が内在していることと思います。大陸から流れ込んできた蒋介石による独裁のしこりは未だに消えていないのでしょうか。

西山より

○ 高岡筋(寒天)の中では藩主の動向より家老(調所広郷)や豪商達の活躍(一生も含めて)がおもしろい江戸末期も



ですけど初期(幕開け)の島津藩の家老たちの動向も記録が生き生きとしていて興味深いものがあります。
薩摩の賈金づくりの話も『西郷南洲顕彰館』の館長徳永和喜氏に聴きたいと思いつながらまだそのままです。

台湾  は今や国全体(仕組みも)が日本と同じ体制だと思います。習近平主席個人の台湾に対する思い(本音)がどうなのか？ウクライナ  に対するプーチンの思いと重なるようだと怖いものがある。

大石より上

○ 台湾は現状維持が一番良いと思っているのでアメリカや日本が余計な事をして中国を刺激しない限り習近平が



台湾に攻めいる口実がないと思うけど独裁者のやることは正直わからない(わからない)

日本は経済的には中国と密接な関係にある訳でお互いに戦争だけは避けたいと思っているし台湾とは同じ価値観を持っている国なので日本と共に戦争だけは絶対起こしてはならない。

残念ながら今の日本に台湾と中国の間につつて戦争を起ささないように話し合いを出来る政治家はいないのが残念ながいませんか？自分の国すら守れない日本なので期待するが間違いかもしれません(ね)

上南郷

—● 11月21日

中台問題については、何故習近平があそこまで台湾に拘るのか、それともこの文章のように台湾も統一を願った時



代があったようで、相身互いなのか、私はよくわからないので、中国通の大石くん教えてください。。

そのことで日本が巻き込まれることだけは避けたいですね。

いや避けられなければ日本は吹き飛ばしてしまいますよ。

「かごしま街道見聞記」の今日は「寒天」工場の話で意表を突かれた思いです。

「寒天」の誕生秘話を知るとともに、財政再建のために調所広郷がこういうところまで手をつけていた事に驚きます。

これほどまでに頑張ったにも拘わらず、調所広郷の最後は悲劇に満ちたものでしたね。

隈元達雄

●西山アンサー



調所広郷の評価は、少しはよい方へ変わってもいいかもしれません。

必要以上に貶められているかもしれません

なにしろ500万両の借財を何として、多額の備蓄まで行った

それがあればこそ、幕末に薩摩が活躍できたことを思いたい。

●11月21日

大崎町の中沖小学校に歌いに行ってきました。



相変わらず男声合唱にハマっているクマタツですが、先日、縁があって大崎町の中沖小学校に行って歌ってきました。

当日、3年1組だった永野幸一くんのお子さんが現在、南日本新聞の志布志支局長をしていることを知り、私は一面識もないにも拘わらずそのお子さん(永野雄一氏)に電話をして自分の身分を名乗り取材をお願いしました。

ただその時の返事では私達の演奏が13時30分からと伝えたのに対し「当日は13時に他の取材が入っているので、行けたら行きます」という返事でした。

ところが私達が体育館でリハーサルをしていると、大きなカメラを胸にした大きな男が入ってきて学校関係者と話し始めました。

リハーサルを終えた私が近づいてみると、私が送ったメールの用紙を持っていました。

永野記者だったのです。

改めて身分を名乗ってお礼を言い幸一氏との思い出などを語り、話を聞くと息子の雄一氏が「私も玉龍、鹿大です。そして父と同じ新聞社に入り同じ人生を歩いています」ということで取材してくれました。

彼は13時からの取材の前に学校に来てくれたみたいで私に「演奏途中で抜けますけどすみません」と言って前半だけ聞いてくれて帰って行きました。

私にとっては、そういう思い出に残るスクールコンサートになりました。

20日のブログに後半の演奏もあります。

その時の新聞掲載記事がブログに貼り付けた写真です。

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202211190000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202211190000/) /

4

●素晴らしかったですね

40人の男声合唱団 迫力もありました



今日の小学校ではいわゆる文部省唱歌は少ないと聞いており、

今日の小学生にとって初めて歌もあったかと思います

小学生たちにとって、ひょっと祖父よりも高齢の人たちの

美しい合唱、年齢を聞くと、さぞかし驚いたことでしょう

男声合唱団、素晴らしい活動です。

同期生のネットワークも素晴らしい、メール1本で

メディアに載せる、それも載せる価値があつてのことです

ビバ、クマタツ！！

●西山さん

激励の言葉ありがとうございます。

歌好きのおじさんたちがコロナ禍にもめげず、マスクを着けてでも歌っています。



それにしても本当に便利な世の中になりましたね。

こうして遠くにいても、毎日即時に交信できて、お互いの事がわかるという昔は想像もしなかった世界に生きています。現在のところ何とかついていっていますが、もうわからないことも出てきました。

用語も手法も限度でしょうか。まあがんばってみます。

隈元達雄

●隈元様 元気で ご活躍 素晴らしい。



コロナ コロナで 集まることに遠慮がある時代 このようなイベントは明るい話題で いいですね。

今後のご活躍 祈ります。 長崎 諫早 森永

●本当に仰る通り便利になりましたが、何か起こると大変なことになります

パソコン突然のダウンに遭遇しました。



データ'/(約 157GB)は、毎日、HDD2TB に自動バックアップしていました

それでも大石さんの助けが必要でした。

今まで、98 などから約 40 年間、デスクトップでしたが今回ノート(NECN1585/CAL 16GB)Windows 11 を購入しました。

当然なのかもしれませんが Windows 10 から 11 バージョンアップしたものとまったく異なるものでした。

今でパソコンの引っ越しにさほど苦労したことはなかったのに、今回ばかりは購入から3週間経過しても悪戦苦闘中です。

軌道に乗ったら、新しい機能を活用したいと楽しみにしています。

便利なものほどトラブルが起こると大変なことになります。

でもみなさん、頑張って パソコンのバージョンアップについていきましょう。

●森永さん

励ましの言葉ありがとうございます。



相変わらず男声合唱を楽しんでいます。

普賢岳の爆発をきっかけに島原や大村に演奏のためお伺いしたことが、遠い昔のこのように思い出されます。

大石くん 西山さん

windows11 の最新のバージョンですか。

私はちょうど2年前に windows10に買い替えたのですが、最近画面を開くと「windows10 に無料でバージョンアップできます」という画面がいつも出るのですが、どうしたものかと迷っています。

いずれ相談に乗ってください。

隈元達雄

●パソコン プロの助けを得て 90%回復後の 10%も重要。

でも気分的に楽になりました。



でもズームできない画面では小さな文字が厄介。

●本当に仰る通り便利になりましたが、何か起こると大変なことになります

パソコン突然のダウンに遭遇しました。

データ'/(約 157GB)は、毎日、HDD2TB に自動バックアップしていました

それでも大石さんの助けが必要でした。

今まで、98 などから約 40 年間、デスクトップでしたが今回ノート(NECN1585/CAL 16GB)Windows 11 を購入しました。

当然なのかもしれませんが Windows 10 から 11 バージョンアップしたものとはまったく異なるものでした。

今でパソコンの引っ越しにさほど苦労したことはなかったのに、今回ばかりは購入から3週間経過しても悪戦苦闘中です。軌道に乗ったら、新しい機能を活用したいと楽しみにしています。

便利なものほどトラブルが起こると大変なことになります。

でもみなさん、頑張って パソコンのバージョンアップについていきましょう。



●11月21日 巻頭文送ります。茨城県 袋田の滝のモミジです！

今年はこれが一番かと思ってますので送りますね🍀

本文も送りました

気になる様などがありましたら、ご連絡くださいね

お手数お掛けします (*^^*)

大石ケイジの中国スケッチ⑳



●<https://youtu.be/FxXjToLKlSo>

中国スケッチ⑳内モンゴルが今年の最後になるかも知れませんが、⑳という数字が気になるのでもしかしたら北京・紫禁城編を30回目にして今年の締めにするかも知れません。

●大石さん

あなたの中国への思い出、奉仕、留学生のお世話は素晴らしいものです



まさに積善の家に余慶ありです。

モンゴルの草原を馬で疾走する雄姿も見ました。

ビューイクも素晴らしかったですよ。

本当に良かったですね。

●今日も内モンゴルの旅の様子、私も満喫しました。

包頭(バオトウ)を巡るのにいいスポンサーが付いてくれていい旅ができましたね。



圧倒的なラクダや面白い乗り物もさることながら、ああいう場所にリフトがあるのですね。

ほんとにいい旅をたくさんしていますね。一生の宝ものですね。

隈元達雄

●素晴らしい砂漠の風景を堪能しました。



ここの砂が巻き上げられて日本へ黄砂として降り注ぐわけですね。

森繁

●大石さん

大石ケイジの中国スケッチ29 見ました。



モンゴルの草原、砂漠の中での 馬、ラクダの旅 大自然の雄大さを感じるものだったようですね！

素晴らしい経験されましたね！

最後の 参考文献 黄河と長江の違い 興味深く 読みました。

いよいよ 大石ケイジの中国 スケッチ 最終版を迎えようとしております。

なんだか 残り 惜しいような感じしますが、編集される方は たいへんな ご苦労だったことと

思います。

中国を すこし 現地の様子を 知っているだけに 毎回 興味深く 読ませていただき、楽しませていただきました。長い事 ありがとうございます。最終編 期待しております。 木場 祥雄

●パソコン、いろいろ困難やトラブルもありましたが、やっと、ほぼ正常になりました念のため「大宮姫の物語…」再送します。



新しい発見があり楽しみながら書いていますので、

大宮姫の物語と志布志の由来

志布志市役所本町・志布志支所前の案内板に、「志布志の名の由来は、古くにこの地を訪れた天智天皇が滞在中に主人の妻と侍女がともに布を献上したことを『上からも下からも志として布を献じたことは誠に志布志である』とし、志布志と呼んだと伝えられている」とある。

では、なぜ天智天皇がこの地を訪れたのか次のような話が伝えられている。

「三国名勝図会」に載る開聞神社（かいもんじんじゃ）、現枚聞神社（ひらききじんじゃ）の縁起によれば、塩椎神（しおつちのかみ）の塩土老翁（しおつちのおじ）が三七 21 日、籠もって念じて作った清浄な水（法水）を舐めた鹿がたちまち懐妊し、鹿の口から美しい女の子が生まれた。

女の子の誕生を瑞祥だとして幼名を瑞祥とも読める「瑞照姫（みずてるひめ）」と名付けた。翁は女の子が二歳のころ都に上り、藤原鎌足に養育を依頼した。成長した女の子は神社に因んでは「大宮姫（おおみやのひめ）」と名付けられ、十三歳のとき、皇后を亡くした天智天皇（てんじてんのう）の妃になった。

雪が降ったある日、宮女たちと雪合戦を楽しんだ。ところが、雪に残った足跡が鹿のようだという噂が広まり大宮姫は故郷の開聞岳の麓に帰っていった。

後に残された天智天皇は大宮姫を忘れることができず、薨去（こうきょ）と偽り、船で都（大津近江宮）から日向へ向かい内之浦を経て、こんにちの志布志に着いた。そこを船磯という。

近くの翁と媪（おうな）が、アワビやサザエでもてなした。これに由来して、山宮神社（709 年創建）の神事で磯物をお供えするようになった。

天皇は開聞の姫のもとを訪れ 5 ヶ月ほど過ごして志布志に戻り、宮居を造り安楽に過ごした。開聞にとどまった姫に姫宮が誕生したので、呼び寄せて共に暮らした。姫宮は乙姫と名付けられたが、40 も半ばを過ぎていた天皇は自分の子ではないかもしれないと疑った。

大宮姫は、それを悲しく思い開聞に戻った。哀れなのは残された乙姫で、母に去られ、父の天皇からは疎んじられ、寂しい日々を過ごし、ついに海に身を投げて命を絶ってしまった。



そのような乙姫を哀れに思った人々が、向かいの小島に宮を造って祀った。その島は枇榔（びろう）が多いことから、枇榔島と呼ばれ、乙姫を祀る枇榔神社が和銅年間（708年～）に創建された。枇榔島は地元では美女が住む「美女ヶ島」とも呼ばれている。

大宮姫は遠くに去り、乙姫は亡くなったために、天智天皇は悲しい思い出の地を去ることにした。その旅立ちに際し、滞在先主人の妻と侍女、それぞれが織った土地名産の絹布を献上した。天皇は大変喜ばれ、この地の人々は志が厚い「志布志」だと感激して仰せられた。



平成18年（2006）、同じ郡内で隣接する松山町や有明町との合併によって「市」になり志布志市志布志町志布志になった。それまでは単に曾於郡（そうぐん）志布志「町」であった。

枚聞神社は、現在、天照大神（大日靈貴命；おおひるめのむちのみこと）を主祭神としているが、昔は大宮姫や塩椎神を祀っていたといわれている。

天智天皇は近江大津宮で崩御されたことになっているが、「扶桑略記」では山中で行方不明になったと記され、四国山中での崩御説もある。



大宮姫は別名玉依姫、瑞照姫、開聞姫とも呼ばれた。鹿の口から生まれたというのは、鹿は物部一族を指しており、塩土老翁の身の回りの世話をしていた物部一族の娘に産ませたものであろう。

大宮姫を生ませた塩土老翁は、宮城県の塩竈神社の祭神で全国に分霊を祀る神社がある。そのため全国を回り開聞岳の麓にも訪れた。そこでは、美しい娘と景色に魅了されて長逗留をした。

大宮姫と天皇が再会した湯の里は湯豊宿（ゆぶすき）と呼ばれ指宿の由来となった。

大宮姫が皇后であったことから
皇后瀬（こんごせ）：大宮姫が宮中から戻り船で廻った山川町の岬。

皇后来（こくら）：大宮姫が上陸した開聞の脇浦の浜。

鳥居ヶ原：大宮姫と天皇が住まわれた地、指宿神社があった。

経の場：大宮姫と天皇が崩御した時の経典の書写を岩屋に埋めた場所。



おわり

八期 LINE のトーク集より

●善ちゃんトーク



やっと日本がコロナのクスリを承認したみたいですね)ワクチンは何時のまにかアメリカのワクチンに飲み込まれて立消え塩野義製薬油日ラボラトリーズがやっと承認されました。何故こんなに日本は遅いのですかね^{is}やはりクスリやワクチンは自分の国で作って安心感を持って打つ足り飲んだりする事が出来ない日本情けないと思います日本の劣化はいろんなところで起こっていますね? 🙄 --

●竜作君のトーク



八期会の皆さん、常日頃からみなみの応援ありがとう、心温まるメッセージを頂き感謝しています、最終戦リコーカップ残念ながら後一步及ばずすみません、今日アメリカアラバマ州に向かいました、予選通過がなんとかなれば、アメリカツアーに臨みます、8日間競って15位位成績でしたら来年わアメリカ参戦します、これからも、今まで通り応援よろしくお願ひします、皆さんの応援があつてこそ今日の成績があると思います心に沁みる応援ありがとう。

●安部さんトーク



大石さん、お誕生日、おめでとうございます。

私の方が、2カ月程、早いのでちょっぴり、お姉さんです。

主人の、死後の、色々な、手続きに、日々、おわれています。

次女が来て、手伝っててくれますので、助かっています。

書類を見ても、理解できない事柄が多くて、手に負えません。

つぎの12年後まで私に、与えられる時間は、どの位あるのでしょうか？

ああ、良い人生だった、と、笑って、主人の、所に、行けるように、無理しないで、余生を、楽しみたいと、思っています。

これからも、8期会、ラインの、みなさま、どうぞ、宜しく😊🙌 お願いいたします。

●善ちゃんトーク

-安倍さんご主人が亡くなられた後の手続き等大変ですねえ！後は自分の余生を元気で楽しみながら過ごせればと願っ



ています。僕も今月の26日から先祖のお墓参りに徳之島にいつて来ました自分が元気な内と思って行きました自分が今出来る事をやって後悔しないように頑張るって行こうかなあ？と思っています

安倍さんお互い残りの人生を楽しんで行きましよう

●西山トーク



森さんの喪中案内を見て108という数字を検索してみました。108という数字は風水において周囲の引き立てによって大きな成功を手にすると言うとても縁起の良い数字だそうです特に金運と仕事運に良い影響及ぼしますので心に秘めた数字があるなら108の数字を身近に置くようにすると良いでしょうとのことです。お母様があなた方ご夫婦を温かく見守っているということだと思います。森さんの喪中案内を見て108という数字を検索してみました。108という数字は風水において周囲の引き立てによって大きな成功を手にすると言うとても縁起の良い数字だそうです特に金運と仕事運に良い影響及ぼしますので心に秘めた数字があるなら108の数字を身近に置くようにすると良いでしょうとのことです。お母様があなた方ご夫婦を温かく見守っているということだと思います。--

勝みなみのページ

2022年 ツアー選手権リコーカップ >

渡米前日に軍資金1800万円ゲット 勝みなみの満足と心残り

2022/11/28 07:37

#勝みなみ



18番でバーディを奪ってトップに並んだ勝みなみ



国内最終戦を終えて渡米する2人。これから長い戦いに臨む

「日本女子オープン」で大会連覇を成し遂げ、活躍を見せた今シーズン。心残りといえば、目標にしていた年間3勝以上に1つ届かずに終えてしまったこと。「70点ぐらいかな。今回もだけど、勝てるチャンスはあった。勝ち切れなかったのは自分にまだ何か足りない」。日曜日に東京に戻って、月曜日に渡米。次なる挑戦へと向かう。(宮崎市/石井操)

最終組の3組前から出た勝みなみは最終18番で15mをねじ込んで通算15アンダーとし、トップを走る山下美夢をとらえた。ホールアウトしてリーダーボードを見るまでは山下のスコアが16アンダーと思っていたといい、「15アンダーで2位が確定だあ、と思っていたけど、順位を見たら『1』。これは困ったなと思ってビックリした」と笑って振り返った。

5打差から出た最終日、前半で6つのバーディを奪うなど9バーディ、2ボギーの「65」をマークした。プレーオフでは155ydから打った8iのセカンドショットが右に反れてグリーンに乗らず。バーディパットが決まらず、勝負がついた。



勢いはすごかった

「ああいう右に行くのがコースでずっと出ている、プレーオフの2打目で修正できたらまた違うイメージでアメリカに行けるのかなと思っていたけど出ちゃって…。タイミング次第だと思うけど、そこを修正してアメリカに臨みたいと思います」。翌週から始まる米ツアーの予選会に向けて不安を消せなかったものの、満足感はある。

「(ギャラリーに)楽しんでいただけたかなとは思っているので、ここはここで終わりにしてアメリカでいい報告ができるように頑張りたい。やり切った感はめちゃくちゃあります。もちろん、優勝できなかったのは悔しいけど、アメリカに行くとなるとお金も必要になる。1つでも順位を上げたいと思っていたところもあったので…上出来ですね」。渡米前日にゲットした1800万円には頬を緩めた。



5 特別賞 勝 みなみさん(24) プロゴルファー

偉業重ねて世界へ飛躍

2年連続で女子ゴルフツアーの大会を「1位」で奪った。国内のツアーから海外まで活躍する14歳から21歳までの若手選手たちを輩出した。大会優勝回数も、過去に10回以上あった。今シーズンは、大会優勝回数も、過去に10回以上あった。今シーズンは、大会優勝回数も、過去に10回以上あった。

特別賞は、勝みなみさん。2022年11月にプロゴルファーとしてデビューし、国内のツアーから海外まで活躍する14歳から21歳までの若手選手たちを輩出した。大会優勝回数も、過去に10回以上あった。今シーズンは、大会優勝回数も、過去に10回以上あった。

特別賞は、勝みなみさん。2022年11月にプロゴルファーとしてデビューし、国内のツアーから海外まで活躍する14歳から21歳までの若手選手たちを輩出した。大会優勝回数も、過去に10回以上あった。今シーズンは、大会優勝回数も、過去に10回以上あった。

特別賞は、勝みなみさん。2022年11月にプロゴルファーとしてデビューし、国内のツアーから海外まで活躍する14歳から21歳までの若手選手たちを輩出した。大会優勝回数も、過去に10回以上あった。今シーズンは、大会優勝回数も、過去に10回以上あった。

●11月28日

黎明館の歴史講演会、いよいよ明後日になりました。



当日はこの通知にあるように黎明館正面玄関しか使えないようなので、正面玄関に13時に集まるようにしましょうか。武岡からのバスは11時出発の後の便は、いきなり12時32分と1時間32分もの間隔があるので、明和から行く予定です。それでもちょっと遅れるかもわかりませんが、了承ください。

当日のスケジュールは、以下のとおりです。

11月30日（水）

13:00～	開場	13:30～14:30	桐野作人氏 講演
14:30～14:40	質疑応答	15:00～16:00	三木靖氏 講演
16:00～16:10	質疑応答	16:10	閉会



●混むようなら僕もバスで🚌行こうかな??

●30日 講演終わりました。

今日は本田さん、大石くん、私の3人は「歴史講演会」へ。



森くんは長田町老人クラブのボスとして霧島バス旅行へ。

それぞれお疲れ様でした。本田さんとは黙礼を交わしただけでしたが、お疲れは出なかったでしょうか。神出鬼没の本田さんにはいつも驚かされます。皆さん、急に冷え込むようです。体調には十分気をつけましょう。

大石くんへ 横田さんが「よろしくお伝え下さい」とのことでした。

●小松帯刀ストーリーを(隠し録音)帰りのバス中で聴こうとイヤフォンを繋いだら残念全く聞こえないアップルウォ



ッチ🕒ミスしました。

今夕食終わったらパソコンで今月号の『八期オンライン通信』作り上げ 12時までには発信しましょう。隈元さんに帰りお茶を誘われたけどクマタツブログファンの素敵な女性と一緒にだったので遠慮しました。

おふたりで「tea for 2」したのかなあ...

●録音うまくいかず残念でしたね。

これから「八期通信」の編集大変ですが、よろしくおねがいします。



あその後、車に乗せてもらってすぐ帰りました。

私は自宅から歩いて5分もかからない武岡の山形屋ストアで買い物があったので、そこでおろしてもらいました。

「tea for 2」は今日は無しでした。大石くんも一緒なら誘ったかもわからないが、一応相手は人妻ですからねえ。

私がじいちゃんでも、ちょっと二人ではねえ。 隈元

●リコーカップ2022「勝みなみ最終日の軌跡」

<https://youtu.be/mMrJnlcYkel>

ユーチューブ動画にアップしましたらさすが勝みなみのネームは偉大です。たちまち1000人を超えました。



●勝みなみさん リコーカップ 見ました。最終日の追い上げ すごかったです。

確か最後に バーディーで 山下さんと プレーオフをむかえることとなったと思いました。



プレーオフ 18番 セカンドショットが うまく グリーンに乗せられず 敗れてしまいました。残念でした。

賞金は 高額で 2位で 1800万円でした。通常の優勝賞金より 多かったです。

来年アメリカでの活躍を期待したいです。頑張れ！一層の活躍を期待しています。木場 祥雄

●勝みなみさんの、リコーカップの2位、おめでとう！！



最終日の追い上げ、まさに圧巻でした。特に、18番のグリーン上の、あのラインを読み切った長いパッティング、驚異的でした。

最近の彼女のプレイを見ていると、残念に思う事は、初日、2日目のプレイがちょっとラフになっている事です。最初から突っ走った日本オープンなどは、2位を完全に引き離して、優勝していますね?! 心がけていただきたいこととして、初日から、リードできるスコアにまとめることが、常勝のみなみさんの真価を証明する証であり、「先行」することが、彼女の賞金女王になるカギになるでしょう。

来年はアメリカ参戦との事です。また、あちらの「飛ばし屋」などとまみえ乍ら、一段の成長を期待したいです。彼女の信念とあの的確な「技」で、是非、さらに大成されることを、我々外野の一人として、切望します。

本田 哲郎。

●みなみプロ爺ちゃんもしばらくは鹿児島なので又森氏宅昼食会に龍作さんも呼んで一緒にゴルフ談義でもしましょうか? その時本田さんのアドバイス語りませんか?



●よかど

●随分と楽しそうですね! 近ければ参加したいですね。



私も、みなみさんのおじい様に会いたいですね?! 出来たら、よろしく!!

●大石さん 皆さんへ

久しぶりに話が盛り上がってきているようです。



森さんのよかど...って なにかな?...と書いていましたら 森さん宅で 市来じーじを囲んでの昼食会 近ければ 参加したいぐらいです。勝 みなみさんに 来年も アメリカ本場での活躍を期待したいです。 木場 祥雄

●私はゴルフをしないけど、アメリカで名門といわれる名門といわれる複数のゴルフ場のクラブハウスでの



食事に招かれたことがあります。

これがアメリカだと感じさせる場所でした。

名門のゴルフ場で活躍、言ってしまうと仕事場に

するとは夢のような大変なことです。

ますます活躍をお祈りします。

「鹿児島のみなみ」から「世界のみなみ」へ

マッチプレーに敗れてもあの笑顔、負け惜しみではない

余裕は、納得によるものでしょう。

精神的に強そう。爺さん譲りかね...

=====西山和宏

●11月29日



メール有り難う 12/13 日の忘年会楽しみですね我々は 年年歳歳難しくなります。

集まった人達と楽しく呑みかわす事が正解かも飛んで 行きたい気持ちです。

我が家はコロナで大変でした 9 人家族で暮らしていますが長男家族全員(7 人)が

次々と感染してしまい二週間程で終わりましたが生きた心地しなかったです。

私ども夫婦は一階で生活してたなので2人はセーフ？

笑笑 😄

日本はIT関係でも人材不足

で韓国、中国にさえ遅れて

居ますが化学の分野は様々な事で問題があり、まず

大学生が集まらない大学

の開発予算が少ない

日本の首位は武田薬品ですが現在は社長は外人で社員

も90%がやはり外人です。

牙城がこんな風ですから

期待できないですね

●編集後記

大石ケイジ



11月もいろいろありました。おし迫ってから静岡市にお住いの4組・斯波紘子(旧姓高橋)さんのご主人逝去による「年始のご挨拶遠慮」のお葉書をいただきました。世間のデータ上は年々長寿は増えているように聞いていますが当人にとっては「周りの世話を受けて迄長生きしなくていい」と、いま正常なあなたなら思いませんか？

年賀もそろそろお終いに！と思うこの頃ですが、実は「年始の挨拶ご遠慮」の喪中案内は今年は逆に少ないですよ。

恐らくみなさんも似たような状況ではないでしょうか？

果たして多いのか、普通なのか？分かりませんが、年末が近づくといろいろなことを感じたりしているところに堀田昌子さん(7組)が今月の『巻頭文』で90歳までは何とか元気だけど…という文章に共感したり、ほっとしたり…でも、あと6,7年だと思えば、焦ったりします。

「もうこうなったらやるところまでやります！」と、われらの成功男!!中村隆重くんが2年前に城山ホテルでの『もろもろ賞受賞記念パーティ』で挨拶した言葉を引き合いに出したくなるこの頃です。

来月は最後の月になります。来年の干支が私たち多くの『兎うさぎ年』だと知っていますか？

生まれてきて7回目の卯年です。

もしかしたらラストラビットイヤー(最後の卯年)になるかも知れない仲間も多くなるでしょうね。



その次は95歳ですから。でも健康でさえいたらまだまだ大丈夫。

来年の巻頭文にはそんな寿命の長い長寿の里・徳之島にルーツを持つ南

郷善之助さんの『僕の墓参り』を巻頭文に書いてもらおうと思っています。

ここにその1枚の墓の写真に掲載します。

